にいがた畜産協会たより

公益社団法人
新潟県畜産協会
新潟市西区山田2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL. 025-234-6781
～6783

飼料用トウモロコシ実演講習会

目　次

◆ 養豚研修会へ講師を派遣しました ……（2）
◆ 飼料用トウモロコシ実演講習会に参加 …（2）
◆ ホームページをリニューアルしました …（3）
◆ 令和５年度新潟県子牛共進会 ……（4）
◆ 北陸四県馬事畜産協議会の開催 ……（4）
～金沢競馬レポート～
◆「第21回協同組合まつり」……（5）
に参加します！
◆ 家畜防疫対策の再点検・徹底を ……（6）
お願いします！
◆ 第13回農業WEEKへ参加しました ……（7）
～農業・畜産展示会レポート～
◆ 畜産安心ブランド生産農場だより ……（8）
◆ ちくさん女子の窓 ……（8）
◆ 編集後記 ……（8）

養豚研修会へ講師を派遣しました

津南町養豚組合及び津南町畜産クラスター協議会から養豚研修会の講演依頼があり、谷川業務課長を講師として派遣しました。

８月10日、津南町農業協同組合を会場に「畜産経営指導実施結果等」をテーマとした講演を行い、令和４年度に実施した畜産経営指導（畜産コンサル）の実績を用いて、実際に養豚経営が抱えている課題とその主な要因、改善のための対策例などを紹介しました。

当然、個々の経営により課題は異なりますので、この研修会を機に各経営がそれぞれの課題を整理して対策に取り組むことで、配合飼料価格や各種資材が高騰する中でも収益を上げることが可能であることをお伝えしました。

なお、課題解決には各種補助事業やコンサルの活用も有効であることもお伝えし、次年度以降のコンサル受診について積極的に手を挙げていただくようお願いしました。

研修会の様子

当協会では、各畜種の担当者を研修会やセミナーの講師として派遣しているほか、「畜産経営相談窓口」を設置していますので、何か気になることなどがあれば、お気軽にお問い合わせください。

質疑応答

飼料用トウモロコシ実演講習会に参加

８月25日、新発田地域農業振興協議会及び新潟県畜産振興協議会主催の飼料用トウモロコシ収穫調整実演講習会に参加しました。この講習会は新発田市内の酪農家２戸と耕種農家３戸がタッグを組んで結成した「新発田コントラクター」の取り組みを紹介するものです。

当日はコントラクターの概要説明の後、デントコーンの収穫作業とロール成形・ラッピング作業が実演されました。

世界情勢や記録的な円安の影響で各種資材価格が高止まりし、耕畜種双方にとって厳しい状況が続いており、様々な課題について、耕畜連携によってどのように解決を図ったかを学ぶ貴重な機会となりました。

飼料用トウモロコシ栽培のメリット

① 耕種農家のメリット

- 飼料作物によって繁忙期を分散することで、経営面積の拡大に対応
- 栽培・調製に係る労力・コストが耕種作物より少なく、水回りの条件が悪い圃場でも栽培可能
- 水田活用の直接支払交付金を活用することで、水稲栽培と同程度の所得確保が可能

② 畜産農家のメリット

- 輸入飼料に比べ安価な飼料を利用できるため、大幅なコスト低減見込
- 耕種農家へ堆肥供給を行うことで、これまで処理コストのかかっていた家畜排せつ物を有効活用可能

収穫作業の様子

ホームページをリニューアルしました

今年８月、皆様へさらによりよい方法で情報を提供するために、さらに見やすいホームページにリニューアルしました。ぜひご覧ください!!

画面が大きくなり見やすくなったほか、各種バナーを作成し、検索しやすくなりました。

にいがた畜産女子会のページもリニューアル。女子会料理レシピも近くアップしますので、お楽しみに！

公益社団法人新潟県畜産協会ホームページ

https://niigata-chikusan.jp

令和５年度新潟県子牛共進会

全農新潟県本部主催の令和５年度新潟県子牛共進会が９月26日に新潟県中央家畜市場で開催されました。今年度は雌牛８頭と去勢牛10頭の合計18頭が出品され、中越家畜保健衛生所の所長ら３名が審査を行いました。総じて、発育がよく今後に期待できる子牛という審査講評でした。

受賞者は下記のとおりで、当協会から最優秀賞受賞者に賞状と副賞を授与しました。

【子牛共進会結果】

区　分	部　門	名　号	所属JA	生産者
最優秀賞	雌 の 部	ゆりお２	新潟かがやき	山口　孝平
	去勢の部	阿 賀253	新潟かがやき	渡辺　俊行
優 秀 賞	１　席	華　　金	えちご上越	たきもと農産㈲
	２　席	さちこのこ	えちご上越	近藤　大貴

畜産協会長賞授与（左：瀬髙専務理事　右：渡辺氏）

続いて開催された素牛市場では、肥育農家の経営難の影響を受けて子牛価格の下落傾向が続き、平均価格（税抜）は雌牛で387,949円、去勢牛で511,159円と前回よりも21,787円安となりました。

【市場結果】（価格は税抜）

区　分	雌	去　勢	合　計	前回比
出品頭数	42頭	65頭	107頭	▲７頭
成立頭数	39頭	63頭	102頭	▲８頭
最高価格	578,000円	739,000円	－	▲17,000円
最低価格	224,000円	256,000円	－	24,000円
平均価格	387,949円	511,159円	464,049円	▲21,787円

北陸四県馬事畜産協議会の開催
～ 金沢競馬レポート ～

当協会は地方競馬全国協会の補助を受け、畜産経営の支援体制の強化、馬事普及啓発の推進体制の強化等の畜産振興事業に取り組んでいます。

北陸四県では石川県にある金沢競馬場が唯一の地方競馬場であり、毎年現地に石川・富山・新潟・福井各県の馬事畜産振興協議会が集合して事業計画等を協議する「北陸四県馬事畜産協議会」が９月３日（日）に開催されました。

新型コロナウイルス感染症蔓延以降、金沢競馬場では地方競馬全国協会が定めた「競馬における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に従って無観客開催や入場制限を実施していましたが、令和５年シーズンは３年ぶりに入場制限が撤廃され、当日は協議会が主催する競馬ファンサービス（スピードくじ）抽選会場の設置や北陸四県の冠レース開催など賑わいを見せていました。

また、WEB上でも楽天競馬・オッズパークで一定額以上の勝馬投票券を購入した方に抽選で各県の畜産物をプレゼントするキャンペーンが開催されており、新潟県からは（株）佐渡乳業の乳製品詰め合わせセットを賞品として提供しました。

スタンドからは日本海と白山連峰が一望できる素晴らしい景観が広がっており、場内には子供も楽しめる遊具の他、食堂街も充実しています。

金沢駅から無料送迎バスもありますので石川県観光の際にはぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

スピードくじ抽選会

「第21回協同組合まつり」に参加します！

10月29日（日）に「万代島多目的広場（大かま）」にて「第21回協同組合まつり」（主催：新潟県協同組合間提携推進協議会）が開催されます。

当協会も新潟県の畜産を紹介するブースを出展します。

畜産の現場や、にいがた和牛、にいがた畜産女子会などを紹介するほか、小学生まで向けのちくさんクイズ（解答者にはおもしろ消しゴムが当たるガチャを用意）、18歳以上を対象としたアンケートとガラポン抽選会を行う予定です。ぜひ遊びにいらしてください。

～ 出展内容 ～

- **「アンケートに回答してガラポン抽選会に参加しよう！」**（対象：18歳以上）
  県内の畜産物加工品等が当たります。（午前、午後各200組）
  午前の部　9：30～10：30（予定）　午後の部　12：30～13：30（予定）

- **「ちくさんクイズに答えてガチャでおもしろ消しゴムをあてよう！」**
  （対象：小学生まで）（午前、午後各100名）
  午前の部　11：00～12：00（予定）　午後の部　14：00～15：00（予定）

家畜防疫対策の再点検・徹底をお願いします！

新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、訪日外国人数や日本人の渡航者が増加しており、アフリカ豚熱や口蹄疫等の家畜伝染病が国内に侵入するリスクが増大しています。

また、高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生リスクも高い状況が続いています。

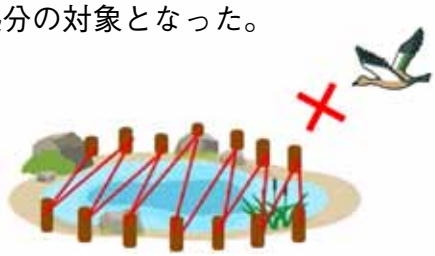
つきましては、家畜の所有者及び畜産関係者の皆様方には、防疫対策の再点検・徹底をお願いします。

【家畜伝染病の発生状況】

▶ **アフリカ豚熱**：アジア・ヨーロッパ各地で発生が続いている。

▶ **口 蹄 疫**：本年５月に韓国で４年ぶりとなる発生が確認されている。

▶ **高病原性鳥インフルエンザ**：昨シーズン（令和４年10月～令和５年５月）は過去最大となる26道県84事例が発生し、約1,771万羽が殺処分の対象となった。本県も５事例で約257万羽の殺処分が行われた。今シーズンも７月に南樺太で野鳥の感染が確認されている。樺太は日本に飛来する鳥の経由地であることから、ウイルスの侵入リスクが高い状況となっている。



▶ **豚　　熱**：令和５年８月に九州で初めて佐賀県の養豚場で発生が確認された。本県では農場での発生は確認されていないが、野生イノシシでの感染が継続的に確認されており、今までに14市町61頭の感染が確認されている（令和５年９月末時点）。

【家畜防疫対策】

1　国内への侵入防止（畜産関係者の海外渡航の自粛等）

- アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域や非清浄地域への不要不急の渡航を自粛する。
- 外国人技能実習生等の外国人従業員等に対して、国内への持ち込みが禁止されている肉製品等の持ち込み禁止を徹底する。

2　農場への病原体持込みの防止（飼養衛生管理基準の遵守）

- 看板の設置等を行い、部外者の立入を防止する。
- 畜舎専用の衣服、手袋及び長靴等の着用。
- 消毒の励行。消毒薬の濃度の確認及び定期的な交換を行う。
- 野生動物の侵入防止（防護柵、防鳥ネットの設置、畜舎壁・天井等の穴、隙間の点検）。

3　早期発見及び早期通報

- 飼養家畜に異状が確認された場合は家畜保健衛生所に速やかに通報する。

第13回農業WEEKに参加しました
～ 農業・畜産展示会レポート ～

10月11日～13日までの３日間、千葉市の「幕張メッセ」にて、最先端の農業・畜産技術紹介や関連施設・機械等を一堂に集結した展示会「第13回農業WEEK」が開催され、当協会の担当者が参加しましたので、概要を紹介します。

農業WEEKは、国際畜産資材EXPO、国際スマート農業EXPO、国際６次産業化EXPOなど複数のEXPOで構成されており、当日は国際畜産資材EXPOのブースを中心に訪問して施設・機械展示や実演等を見聞きすることで、降雪地の新潟でも活用可能か否かなどを検討することができました。

会場の様子

様々なシステムを紹介

また、専門家によるセミナーでは、これからの畜産経営に必要な臭気対策、畜産業に関連するアニマルウェルフェアの現状と課題など、今後の畜産コンサルの場で役に立つ情報を収集することができました。

これからの時代は畜産に限らず農業全体として高齢化による離農、担い手不足が深刻化してきます。労力削減・省力化にはICT化などスマート農業が重要ということが再認識できましたが、投資に見合う効果が発揮できるよう十分に検証してから導入する必要があると感じました。

今回学んだ技術や機械等（メーカー・商品名等）については、この会報誌には書ききれませんので、畜産コンサルや現地巡回、また、２ページの記事で紹介した津南町養豚研修会のような場や畜産経営相談窓口で具体的に紹介していきたいと思います。

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報
がんばる！畜産！6

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：国産原料100%の飼料で黒毛和牛を肥育する農家に密着！／シリーズ　令和の畜産危機にさせないために／放牧で飼料代・燃料代を抑えた酪農経営／他

◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索
がんばる畜産

（公社）中央畜産会　経営支援部（情報）　TEL03-6206-0846

畜産安心ブランド生産農場だより

養鶏：有限会社 日本海ファーム（上越市）
川原 正嗣

業界に入って、早15年。農場設備も様代わりして古い鶏舎はウィンドウレス鶏舎へ更新し、農場とパック詰めの工場（GPセンター）を別にするオフラインになりました。

また、業界を取り巻く状況も変わり、ここ最近では飼料価格の高止まりや鳥インフルエンザの大流行などがあります。このような厳しい状況の中、継続して事業を行っていくためには何が必要かを考えながら事業活動しています。

まず、お客さんに安心・安全な商品を届けるために農場にて今年の６月に農場HACCP認証農場として認証を受けました。先にGPセンターでHACCP認証は承認されていたので、これで卵が産まれて出荷されるまで共通の衛生管理の下、生産することができます。これは大きな強みですが、他の生産者と勝負できるためのスタートラインにやっと立てたと思っています。実際運用していると新たに課題が見つかり、それを解決して安心・安全な卵を生産するために日々改善していきます。

そして、継続事業を行う上で直近では一番重要なこととして鳥インフルエンザ等の防疫対策が挙げられます。この見えないウイルスの環境中の濃度が高くなっているのは間違いないので、既存の防疫プラス新たな対策にチャレンジして防疫面の強化をしていきたいと思います。

最後に事業継続を支えてくれる従業員には幸せになって欲しいと思います。生産者はもちろん食に関わる従事者に対する評価が低いと思うので、まずは養鶏について知って欲しいと思います。

「健康な鶏が産んだ卵は美味しい卵」をベースに既存のまま立ち止まらず新しいことにチャレンジしていきながら、これからも安心・安全な卵を生産していきたいと思います。

ちくさん女子の窓

酪農経営：**松屋 優子**（新潟市）

今年の夏は本当に暑い夏でした。７月後半から記録的な猛暑が続き、８月に出産を控えている牛が何頭かいたため、とても気がかりでした。暑熱対策として、ゴーヤを植え日差しを防ぎ、屋根にはスプリンクラーを取り付け散水。扇風機は、昼夜問わずフル回転。

それでも熱中症になった牛がいて、毎日のように獣医さんから治療をしていただきました。「暑いのはお盆まで…」とたかをくくっていた私でしたが、８月末に秋葉区の最高気温が全国１位と報じられ絶句。

無事に出産を終えた牛と元気に生まれてきてくれた子牛の体調管理に気をくばる日々が続きました。

私自身も「体が資本」と思い、毎日飲む牛乳はもちろんのこと、発酵食品を食べるように心がけました。

今後も気を引き締めて仕事に励んでいきたいと思っています。

牛舎はゴーヤカーテンで暑熱対策

編集後記

新型コロナ感染症が５類に移行してから経済活動が復活してきており、特に海外からの観光客が飛躍的に増加している一方で、世界情勢による円安や物価上昇が続いています。

海外からの観光客増加は家畜伝染病の侵入リスクが増大する危険性があります。また、物価の上昇による消費の低迷も心配されるなど、今後も情勢を注視しながら農家の皆様の支援に努めていきたいと考えております。　（編集担当：谷川）